

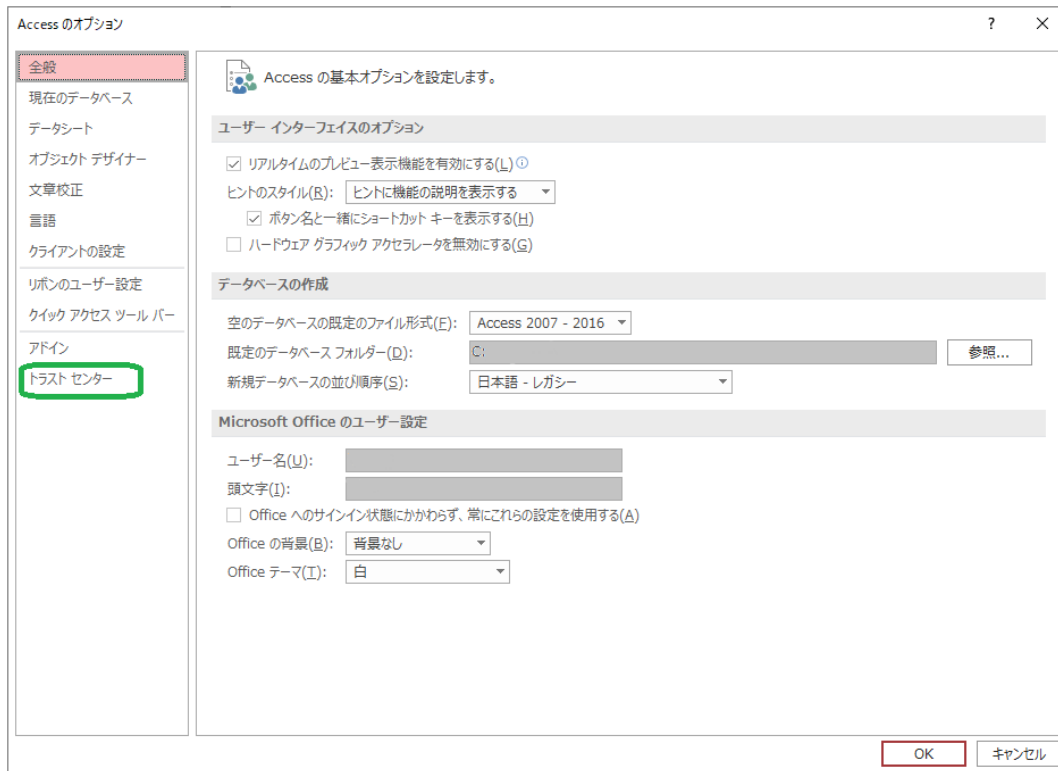
## ○ACCESSを使用している場合のセキュリティの解除について

システムは信頼のできるフォルダに設定してからご利用ください。らくだよ8の最初のセットアップ時に自動で解除されますが、インストール先のフォルダのみの解除です。

①ACCESS を起動して「オプション」をクリックします。  
ます。



②オプションの画面では「トラストセンター」をクリックします。



③つづけて、「トラストセンターの設定」をクリックします。



④トラストセンターの設定の画面では「信頼できる場所」をクリックします。

トラスト センター

?

×

信頼できる発行元

信頼できる場所

信頼済みドキュメント

信頼できるアドイン カタログ

アドイン

ActiveX の設定

マクロの設定

メッセージ バー

プライバシー オプション

フォームベースのサインイン

すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定

メッセージ バーの表示

☒ ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S)

☐ ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)

ポリシーのヒント

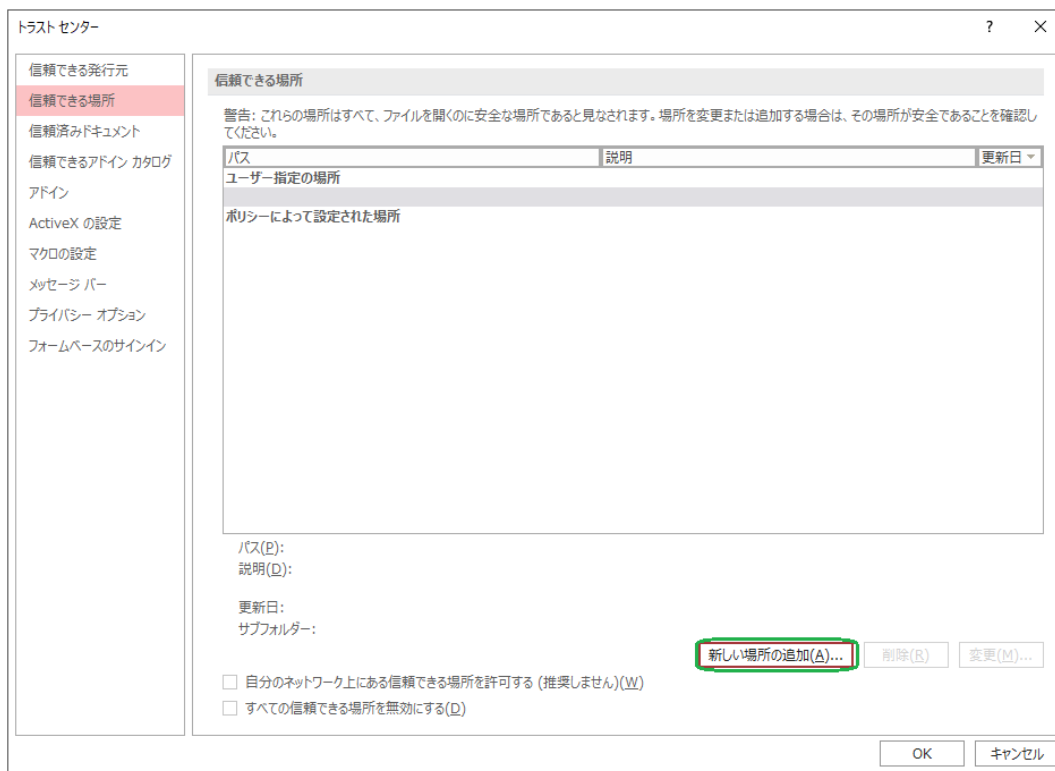
☒ ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

☐ トラスト センターのログ記録を有効にする(E)

OK

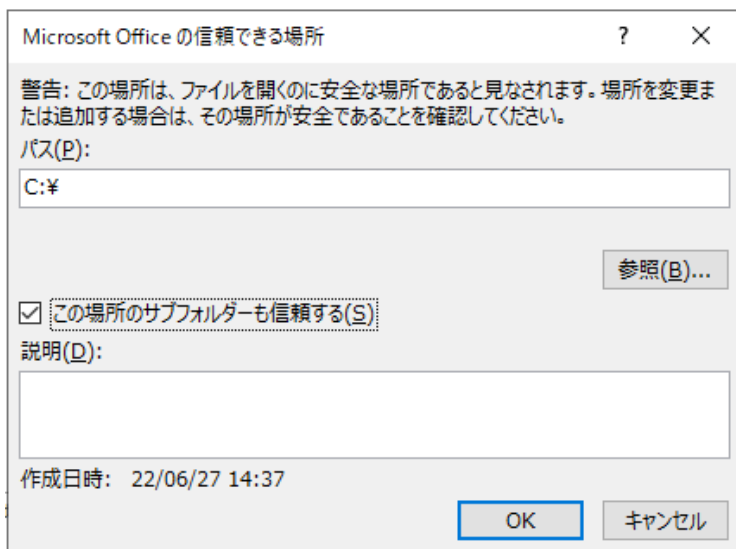
キャンセル

⑤つづけて、「新しい場所の追加」をクリックします。



⑥[Microsoft Office の信頼できる場所]のダイアログが表示されます。

「参照」ボタンをクリックして、信頼できる場所のフォルダをクリックします。下の例ではデスクトップの「C:¥」すべてを信頼できる場所に設定しています。設定したら「OK」をクリックします。



※システムのあるフォルダを設定してください。

※「C:¥」に設定して。この場所のサブホルダーも信頼するにチェックを入れればすべてで利用できます。

⑦[ACCESS のオプション]－[セキュリティセンター]のフォームに戻ります。

信頼できる場所でパスがシステムのあるフォルダになっていることを確認したら「OK」をクリックします。

トラストセンター

信頼できる発行元  
信頼できる場所  
信頼済みドキュメント  
信頼できるアドイン カタログ  
アドイン  
ActiveX の設定  
マクロの設定  
メッセージ バー  
プライバシー オプション  
フォームベースのサインイン

信頼できる場所

警告: これらの場所はすべて、ファイルを開くのに安全な場所であると見なされます。場所を変更または追加する場合は、その場所が安全であることを確認してください。

パス	説明	更新日
ユーザー指定の場所		
C:\¥		22/06/27 14:37

ポリシーによって設定された場所

パス(P): ユーザー指定の場所  
説明(D):  
更新日:  
サブフォルダー:

新しい場所の追加(A)... 削除(R) 変更(M)...

☐ 自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する (推奨しません)(W)  
☐ すべての信頼できる場所を無効にする(D)

OK キャンセル

以降、セキュリティに関する通知のメッセージが出なくなります。